

要素	第2回会議の意見整理表
窓口	<p><b>【ICT化に伴うこれからの窓口について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・若い人はIT化にもアクセス性の少し悪い市役所でも対応可能だが、高齢者などは難しい。各地域の公共施設に窓口の機能を持たせれば便利だし、市役所本体のコンパクト化も図れる。</li> <li>・システムを導入し、無人のサテライトを作るのもよいと思う。もしもの時のために本庁とつながるようにしておけば、システム導入型の窓口と同じような機能がサテライトでも実現できるのではないかな。</li> <li>・IT化が進めば進むほど、最終的には人に聞きたいというところも出てくるので、手続きの微細な部分を丁寧に対応できる仕組みが必要。</li> <li>・窓口に来るということは、人と話がしたい、納得して処理したいといった意味があると思うので、人が対応する窓口は一定置く。一方で、簡単なことはスマホで対応できる仕組みも用意しておくことが望ましい。</li> <li>・行きやすいところにサテライトの窓口ができれば、高齢者だけでなく小さなお子さんがいる方でも便利になるのではないかな。</li> <li>・高齢者を考慮し、窓口は交通の便のいいところに作っていただきたい。高齢者はパソコンを使えない方も多く、その方々が窓口に行けなかったら意味がないので。</li> <li>・例えばアプリで予約した証明書をドライブスルー方式でもらうなど滞留時間を減らす仕組みもあっていいのではないかな。</li> <li>・証明書の受け取りについては、サテライト形式を採用してもよいと思う。市役所に交流の場があって、窓口があってとなると当然人が滞留するのでスペースも必要となる。交流の場と窓口と分けて考えてもいいのでは。</li> <li>・高齢者のことも考慮して進めていただきたい。</li> </ul> <p><b>【市役所職員について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・便利になるにはそれだけお金がかかる。業務の効率化が進んでいない状況でのサテライト化は、非効率であり、人件費もかかる。業務の効率化による職員負担の減少が住民サービスの向上につながる。</li> <li>・ICT化により、本庁で削減された職員をサテライトにまわしたり、高齢者を訪問するような業務につかせたりすればいいのではないかな。</li> <li>・プロフェッショナル対応型の総合窓口は、庁舎の建て替えに関わらず、今からでも可能であり必要。</li> <li>・職員のレベルアップと育成が重要。</li> </ul> <p><b>【これからの庁舎を考える際の留意点について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを活用し、窓口に来ることなく書類の取り寄せを可能にするなど、手続きを簡素化できれば、最終的には窓口は減少し、大きい建物が必要なくなるのではないかな。</li> <li>・これからは、簡単で回数の多い定型的な仕事は、市役所に来て処理する必要はなくなるのではないかな。市役所の仕事内容が変わっていき、それにより庁舎そのものの規模も変わっていくかもしれない。</li> <li>・今すぐ窓口の紙の使用量や窓口数が劇的に減るということは難しい。今の窓口数を維持しつつ、5年10年後、一つの窓口で手続きが完結するようになった時に窓口がどれだけ減らせるのかというように、建物を建てるうえで、段階を踏まえて考えておくことが重要。</li> <li>・ICT化を進めたからといって、簡単に窓口が縮小され、庁舎がコンパクトにできるかと言えば、一概にそうとは限らないのではないかな。現状を把握し、業務をきちんと果たせるような庁舎が必要。</li> <li>・窓口業務のうち、IT化できない相談業務の割合、種類、手続き時間がどれだけあるかについてはデータ収集・分析が大切。</li> <li>・維持費がかかることは極力避けるべき。交通の便利なところに集中型の窓口を1つ設けた方がよい。ただ、駅前などは駐車場の確保が難しいので、先ほど言ったドライブスルーをなど滞留しない仕組みが必要。</li> <li>・本体機能と窓口を分けて建てることはお金がかかると考える。大東市の策定した各種計画に沿った窓口機能、予算の範囲内で考えていくべきではないかな。</li> </ul>
防災	<p><b>【大東市の状況について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・淀川が氾濫し、大阪が壊滅的な状況になれば、おそらく寝屋川や恩地川も同じ状況になる。</li> <li>・寝屋川護岸はコンクリートなので、大地震と重ならなければ基本的には破堤しない。</li> </ul> <p><b>【防災を考えた庁舎の位置について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・すべてが無理なら、利便性は二の次で、安全性と経済性が重要。お金をかけずに安全性をとることができるのであれば、別に山の方に庁舎があってもいいのではないかなと思う。</li> <li>・できる限りお金をかけて安全なところで建てたいと思う人が多いのか、少し安全は劣るかもしれないが、できるだけ安価で建てたいと思う人が多いのか気がなるところ。私はできるだけ安価に建てた方がいいのではないかなと思っている。</li> <li>・前回、水に浸かって数日すれば水は引き、防災拠点として使えるという話であったはず。浸水しない地域に新たに土地を買うのか、浸かる前提で庁舎を整備するのかどちらかになるかなと思う。</li> <li>・浸水想定を考えると高台に行ったとしても危険地域に成り得るのではないかな。</li> <li>・浸水地域外が難しいならば、ベストではないが、情報収集や伝達といった防災拠点の機能が果たせるのであれば、比較的浸水深の浅いところに建てることも考えてみていいのではないかな。</li> <li>・本庁は防災拠点として、アクセスは悪くても浸水に耐えられる場所に建てる。駐車場を用意する必要はあるが、災害時には駐車場を避難所としても活用できる。一方、メインの窓口はアクセス性の良いところに持っていくなど窓口と防災と機能を分けることも考えてもいいのではないかな。</li> <li>・土地がないのであれば、駅前の再開発など土地を持っている方に働きかけて、土地を使わせていただく代わりに新しくできた庁舎の中に入れていただくなど、土地が無いなら無いで新しく生み出していく方法を考えていくべきではないかな。</li> <li>・浸水しない地域への移転も考えられるが、大東市の策定した各種計画に沿った場所に庁舎は建てるべきではないかな。</li> </ul>

	<p><b>【庁舎の災害対応について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市役所は防災拠点として、避難場所にもなるような方向付けをしていただきたい。近くに防災公園として大東中央公園があるのでそれを活かしたものにしてください。</li> <li>・この地域でも1 m程嵩上げすれば浸水被害は軽減するので、ぜひ庁舎には防災拠点としての役割をしっかりと持たせていただきたい。</li> <li>・恩地川・寝屋川流域の嵩上げというのは現実的に可能なのか。</li> <li>・嵩上げにかかる費用はわからないが、局所的であれば嵩上げも可能かもしれない。</li> <li>・寝屋川の堤防レベルに嵩上げすると、3メートルは盛土が必要になると思う。また、市役所だけ上げて周りは浸水してしまうことになるのではないかと。</li> <li>・浸水を回避する方法として、重要機器を上層階に上げたり、1階をピロティーや駐車場にするという方法もある。</li> <li>・浸水地域内に、浸水対策を施し庁舎を建設するのであれば、浸水部分を普段は市民の交流スペースにしてはどうか。</li> <li>・浸水により防災機能が停止してしまった常総市役所のような事例は避けていただきたい。</li> </ul>
その他	<p><b>【進め方について】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・庁舎を建てるうえでは、アクセスや駐車場についての議論が重要になるので、次回以降に議論した方がよい。</li> <li>・今は窓口や防災など個別に議論しているが、庁舎の位置については、総合的にどういった条件が大切かといった議論が必要に思う。</li> </ul>